

とよさか通信

令和8年度 学校だより
令和8年9月24日 No.17
文責 成田 敦子



「自分なりの考えをもつこと」、そして、「仲間と考えをかわり合わせること」

5年3組の音楽の授業では、「オーケストラのひびきに親しもう」と「祝典序曲」を聴いて、説明書を作る活動が行われています。17日（木）には、研究授業が行われ、教員も学びの機会をもちました。子どもたちは楽器の音色を聴き、「クラリネットの音の高い音がして、うさぎがぴょんぴょん跳ねているみたいだった。」、「バイオリンだと元気な感じがして、走っているみたいだった。」、「最後に近づいてきたからか、だんだん音が大きくなっていっている。」、「ここは、金管楽器と木管楽器の音が合わさっていて、音が大きく、だんだん盛だんにぎやかになっていく感じがした。」と自分なりの気づきを付箋に書き、グループで共有していました。どんな楽器がどんな音色を奏でるかの知識を生かして、自分なりの言葉を駆使して表現する姿をたくさん見ることができました。また、グループで話し合う場面では、「どこからそう思うの。」と尋ね、再び曲をかけて「このところ。」、「ああ、わたしが、強い音が聞こえたと思ったところね。」などと、伝え合う場面も見られました。

自分なりに考えることができるように力をつけたり、それを仲間と話し合うことで、友達の考えを知ったり、友達と考えているうちにもっと深い自分なりの考えがもてるようになるおもしろさを感じたり、とよさかっ子がそんな学びをたくさんできるといいな、学びができるようにしていけたらいいなと思っています。



すもう大会に向けて 始動！

10月6日（火）のすもう大会に向けて、練習が始まりました。最初は、体育委員会のたちの呼びかけにより、チャレンジタイムの時間に、なかよし班で基本練習をしました。相撲大会は豊坂小でしか味わうことができない行事の一つ。ぜひ、勝負事に一生懸命向き合ってみること、そして、礼儀を大切にする姿勢が身につくこと等、楽しみにしています。

